

令和1年度 第1回 大阪市立墨江丘中学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立墨江丘中学校
校園長名 林 憲治郎

| | | | | |
|------|---|---|---|--|
| 日 時 | 令和1年5月8日(水) 18:00~19:10 (1時間10分) | | | |
| 場 所 | 大阪市立墨江丘中学校 談話室 | | | |
| 出席者 | 委員など | 小島 辰夫(会長) 森光 尚美(副会長) 杉本 和代(書記) 高山 績(委員) 中谷 亨(委員) 倉郷 博文(委員) 東 邦裕(委員) 石橋 博康(委員) | | |
| | 校園 | 林 憲治郎(校長) 柏原 進一(教頭) 島谷裕美子(学校元気アップ地域本部) | | |
| | 区役所 | 松本 明美(教育文化課 課長代理) | | |
| 議題 | (1) 学校協議会委員について (2) 学校評価について (3) その他 | | | |
| 協議要旨 | 協議の結果 (1) ○学校協議会の目的・委員の役割等について共通理解が図れた。 (2) ○「運営に関する計画」案について説明を受け、2つの大きな目標及びそれに対する取組等に關して共通理解が図れた。昨年度の学校の状況や課題、今年度の年間予定等が分かった。 ○学校元気アップ地域本部の取組に関して共通理解が図れた。 (3) | | 意見の概要 ○学校協議会の位置づけについて確認。 ○学力、体力とも成果を出している部分はわかったが、英語の結果に心配はあるものの、学力だけにとらわれない教育の実践を希望する。 ○達成目標数値クリアを目指して先生方は頑張ってほしい。 ○学校元気アップ地域本部の取組は一定の成果を上げている。学校の要望にそって企画を考えてより一層活性化していきたい。 ○読書銀行で読書の意識を高め、今後の日本の入試改革に対応できる力をつける。 ○生徒を地域活動に返し、地域の一員との意識が高まる取組を学校と地域が一緒に考えていく。 ○区役所も施策で学校を支援していく。 | |
| 協議資料 | 1. 「墨江丘中学校・学校協議会次第」 2. 「大阪市立墨江丘中学校 学校協議会運営要項」 3. 「大阪市立墨江丘中学校 学校協議会傍聴要領」 4. 「令和1年度 年間行事予定(案)」 5. 「令和1年度 運営に関する計画」 6. 「学校元気アップ地域本部」より | | | |
| | 傍聴者 なし | | | |

